

オンリーワン・ザベストを 目指す森林文化アカデミー

岐阜県立森林文化アカデミー

篠田 善彦

岐阜県立森林文化アカデミーは平成13年に創設されましたので、丁度10年が経過しました。専修教育・学習部門、短期技術研修部門そして生涯学習講座部門の3部門が三位一体体制で運営してきました。

専修教育・学習部門はフルタイム学生を対象とし、21世紀の森林および森林文化を担う人材の育成拠点として、教育レベルの違いにより「森と木のクリエイター科」と「森と木のエンジニア科」の2学科構成です。

短期技術研修部門は森林技術者等を対象とし、職業専門技術の短期修得拠点です。

生涯学習講座部門は一般県民等を対象とした森林に関する市民講座を提供し、「森林と人との共生」意識の醸成拠点です。

この3つの部門が相互補完しながら緊密に連携し、「学ぶ、知る、育てる、考える、試す」ことを有機的につなげていく全国唯一の森林教育・学習専門機関としてスタートし、発展してきました。

これまで、専修教育・学習部門ではエンジニア科165名、クリエイター科142名、計307名の学生を社会に送り出しました。現在、卒業生達は林業・林産業・環境教育・木育等に関係する分野で、大いに活躍しています。また、習得した実践的技術でもって起業し地域に貢献している人や、実家の林業を継いで頑張っている人もいます。短期技術研修部門では2,818名の受講者を、生涯学習講座部門では5,822名の受講者を指導してきました。

10年間で、岐阜県内はもちろん岐阜県外にも岐阜県立森林文化アカデミーの存在が広く認識されるようになりました。創設後、厳しい日本経済状況の中、多くの関係者のお陰で社会にしっかりと根付き、認知されたと思います。手探り状態の大変な草創期を各教員のご尽力により、多くの人材を育成し、初期の目的を達成してきました。

また、運営面では熊崎実前学長と歴代の副学長の長谷川洋昭氏、岩田隆昭氏、加藤竹利氏、藤沢茂氏そして現副学長の正村洋一郎氏のご努力とリーダーシップの発揮によるところが大であったと思います。

さて、10年を経過したアカデミーはこれから10年を成熟期と位置づけて、3部門それぞれレベルアップを考えています。一昨年の外部評価を受けて、専修教育・学習部門では昨年1年間かけてエンジニア科およびクリエイター科の改革を検討してきました。

短期技術研修部門では岐阜県から「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」の充実を図る目的でマスタープランナー構想が提案され、その養成コースを

アカデミーに設置してほしいとの要望も出され、研修内容の充実を図ってきました。アカデミー改革の内容については森林のたより1月号(No.688)に正村副学長が分かりやすく紹介していますのでご参照下さい。

また、国は政権が交代し、森林資源を活用した新成長戦略が検討され、昨年「森林・林業再生プラン」がまとめられました。拡大造林後、そろそろ50年が経過し、利用可能な資源となってきた森林を有効に活用し、持続的な森林経営を実現していくには、専門的で高度な知識・技術を有する技術者や技能者の養成が必要であります。

市町村森林整備計画を指導するフォレストアー、森林経営計画の中核となる森林施業プランナー、丈夫で簡易な使いやすい道づくりを担当する森林作業道作設オペレーターそして高性能林業機械を活用して低コスト作業を現場で実践できるフォレストマネージャーの人材などを林業を活性化していくために早急に養成する必要があります。

川上だけでなく、川下の木材流通分野、住宅・建築物分野そして木材利用における環境、社会科学分野の人材も同時に養成しなくてははいけません。具体的には、木材需給に関する情報をコーディネート出来る人材、木造建築に関する大工・工務店、設計者などの人材、低コスト木質バイオマス利用システムの構築・普及に必要な人材、研究・教育機関等における人材、国・地方公共団体における人材および木材業界における人材が必要です。生物多様性の保全等の環境面も配慮して、林業と林産業を一気通貫として構築していかなければなりません。川上から川下までの全体を一体として考えることの出来る人材が今まさに必要となってきています。

今回のアカデミーの改革では、この点を重点に置いて進めてきました。社会のニーズに応じた森林・林業に関係する人材を育成する教育機関として、アカデミーは大きく羽ばたいていきたいと願っています。

農林水産業は、現在、大きな変わり目にあります。これから10年間で非常に大事な時期で、10年の間にこの転換期を乗り越える見通しをつけないと、岐阜県および日本の農林水産業の将来はないという切羽詰まった状況にあります。森林・林業再生は日本の将来にとって必須条件で、これを達成するためには、多くの森林・林業に関係する人材が不可欠であります。

追い風に乗ってオンリーワン・ザベストの森林教育機関を目指すつもりです。多くの皆さんに入学していただけることを願っています。

●詳しい内容が知りたい方は

TEL(0575)35-2525 森林文化アカデミー まで